



霞台小だより

ひばり

No. 691

令和 6 年 2 月 29 日 発行
青梅市立霞台小学校

校長 佐藤 広明

未来を創り出していく

校長 佐藤広明

令和 5 年度も残すところ 1 か月となりました。新型コロナウイルス対応の教育活動から、以前の教育活動を意識し、充実した教育活動を行える 1 年になりました。また、コロナ禍の教育活動は制限される部分が多くありましたが、I C T 活用の推進や、効率的な学校行事の取り組み、また、教員の働き方改革も進行し、今年度は学校の大きな転換点に差し掛かったと言えます。

来年度は、さらに霞台小の力を発揮できる年になります。再来年度の 50 周年に向けて、みんなの想いやアイデアを膨らませ、霞台小のよさをもっともっと大きくしていけるとよいです。

「過去の延長線上に未来はない」とある経済界のリーダーが言っています。未来を予想することは実際にはとても難しいことです。

戦国時代の武将は、「鉄の塊が空を自由に飛び人や物を運ぶこと」を考えられたでしょうか。平安時代の人たちが、竹取物語の月の世界に本当に「人が降り立つ」ことを考えたでしょうか。私が幼かった昭和 40 年代には、世界中の人と瞬時につながったりコミュニケーションをとれたりできるようになるなんて、S F の世界のことでした。私が大学を卒業して新人教員になった時、教室で電子黒板が活躍し、タブレットを子どもたちが使って学ぶ教室の風景を思い浮かべることなんてできませんでした。

このように、想像すらできない未来が確実に、そして現実により創り出されていくのです。「未来は予想することはできない、しかし創り出すことができる。」ことを長い歴史が証明しています。これからの世の中は、さらに速いスピードで想像を超える未来がやってくるでしょう。

さて、子どもたちの今年 1 年間の成長や成果はどうだったでしょうか。1 年前には想像ができないことが多々あったのではないのでしょうか。これからの子どもたちひとりひとりの未来も、想像すらできない大きな可能性があるのです。

自分のよさに気づき、よさを伸ばす努力をすることもよいでしょう。目標をしっかりとって進んでいくこともよいでしょう。まだよくわからないけれど、今を精一杯やっていくこともよいことです。きっとそうして想像できない自分の未来を創りだしていくことにつながっていくのです。

1 年間、子どもたちとともに教育活動を進めてきました。霞台小にご理解ご支援いただきありがとうございます。残り 1 か月、未来を創り出していく日々を続けていきます。